

## 2023 年初級登山教室

### 実技・バリエーションルート読図実技 2

日時 2023年5月21日(日)

場所 高島市日吉神社～三尾山～見張山～日吉神社

参加者 N 森(講師)、K 口、H 谷川、T 本、(スタッフ)

受講生 Y 元 a、Y 元 r、S 古、T 本 a、S 藤(記録) 9名

行程：JR 高島駅前集合～日吉神社(南)～三尾山～蓮池～打下城跡～見張山～日吉神社(北)～  
JR 高島駅

#### 報告

薄曇りの感じもあったけれど、まあまあ良い天気のもと読図講習が行われた。JR 高島駅から南の日吉神社まで移動し、受講生 5 名が順番にリーダーとなって後ろ 8 名を引率していった。地図上で現在地から次のチェックポイントを定めて向かう方角を決めて歩く。この日は室町時代に構築された打下城の城跡などの史跡をルート上に見て歩くことにもなった。

そして前回にも学んだことだが、リーダーは地図読みばかりに没頭してはならず、後続のメンバーの様子にも常に気を配らなければいけない。

そして谷、尾根、沢、平坦地などの地形や送電線、彼方に見える景色を見ながら地図とコンパスを頼りに現在地の見当をつけていかなければならない。さっきのポイントからどれほど歩いたか。さっきの場所がわかっても、移動を繰り返していくうちに登山道から離れてしまい、今どこを歩いているか分からなくなりがちだった。そんな時はコンパスで方角を確かめる。けれど、しょっちゅうコンパスを使う必要はなく、方角を定めたら大雑把に進んでいってよいということ、道が直角に曲がっている場合とかに再確認すればよいとのこと。そういった使い方が早くできるようになりたいものだ。

また、さすがに、三尾山や見張山は低山とはいえ、読図のために余分に動き回ることになり、山中を歩き通した 7 時間は、結構ハードな時間となった。

記：S 藤

〈一口感想〉

**受講生**

以前から行きたかったけれど、ルートが難しそうで、行ったことがなかった見張山、打下城跡を通る読図講習でした。尾根、谷、斜度、距離など、地図と実際の地形を、見比べながら、現在地がどこか、こまめに確認しながら歩きました。山行中、ずっと読図しつづけようと思いましたが、集中力を持続させるのは、なかなかたいへんでした。特に、自分が先頭ではないとき、何も考えず、人のあとをただついて歩いてしまいがちになってしまうので、そこは自分の課題です。しかし、特徴的な地形のところで現在地を特定するのは、楽しい作業でした。 S 古

今日は久しぶりのお天気に恵まれ、気持ち良い読図講習をありがとうございました。低山里山ほど迷いやすいと言われる意味がちょっと分かった気がしています。疎林帯でどうにでも行けて、踏み跡、けもの道、惑わせ要素が満載で難しいです。また一人で比良の低山を歩けないなあと、痛感しました。 T 本 a

今まではリーダー任せで自分の楽しみのためだけに登っていましたが、今回、短時間ではありま  
すがリーダーを担当し、責任の重さと地形が読めなさすぎてパニックになりながらの登山でした。  
(楽しむ余裕は皆無…) ピークやコル、分岐点、わかりやすい目標物をチェックポイントとして方  
向を確認したつもりでしたが、わかりやすい目標である送電線を見失い方向がずれて、修正に次ぐ  
修正で皆さまに不安を与えと散々でした。地形が読めてないのに加え、チェックポイントの場所を  
細かく意識しすぎて、目先の景色しか見てなかったのも間違っただ原因だと思いました。俯瞰的に地  
図を捉えることの大切さもよくわかりました。今回の反省を忘れずに、普段から地形図を持って、  
山を楽しみたいと思いました。Y元A

読図については、目からウロコで学ぶことがたくさんありすぎて覚えられませんでした。あれ  
これ地図を見ながら行き過ぎたり、行き詰まったり、焦ってしまいましたが、皆様のお陰で達成  
できた!?かと思いました。今度コンパスを使った読図を挑戦したいと思います。Y元r

### スタッフから

今回の山行は先週予定していた実技を日程スライドして実施したのですが、本格的なルー  
ト外山行になり、なかなか手強かったのではないのでしょうか。受講生のみなさんは、基本的なコ  
ンパスの使い方や地形図の見方にはだいぶ慣れてこられ、積極的に活用しようと努力されていた  
ように思います。あとは効率のよい歩き方ができるようにすることですね。その際、適切なチェ  
ックポイントを設定すること、チェックポイント間では次のチェックポイントの位置を常に意識  
して、距離・傾斜・地形の変化と方向に注意しながら、方位磁針だけ見て一気に歩くことを心が  
けられるとよいと思います。 講師：N 森

今回の地図読み山行は、低山ながらも踏み跡がはっきりしなかったり、地形図に反映されない小さ  
い地形が入りくんでいたりで面白い山行だったと思います。そんな条件でもおおむねコースをたど  
って歩くことができたのは、ポイントごとに地図と実際の地形を比べながら判断を重ねたためだ  
と思います。実際の山行でも丁寧な地図読みができるように練習を続けましょう。T 本

今日は本当に暑い中お疲れ様でした。  
暑い中山を歩きながら、慣れない地図読みを行うのはとても大変な作業です。そんな中、集中力を  
切らさずにとっても頑張られたと思います。そして皆さん基本の作業はかなり慣れてこられたと思  
いました。今回も間違いなどありましたが皆さん落ち着いて対応されていたと思います。今後も宜し  
くお願いします。 H 谷川

スタッフとしての参加でしたが、本気で望むために GPS は持って行きませんでした。地図読み  
には慣れていたつもりですが見誤る所もありました。しかしながらそれも楽しかったりもしま  
す。受講生の皆様におかれましては、色々な所でトライして頂いて、経験を積んで精度を上げて  
頂けたらと思います。 K 口

写真は、HPの初級登山教室をご覧ください。

<https://www.shigarosan.com/>